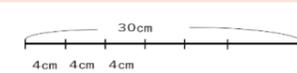
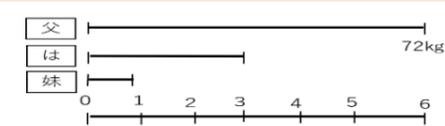
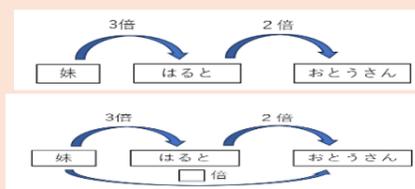


- (1) 目標 問題場面にあわせて余りの処理の仕方を考え、余りを切り捨てて処理することができる。(思判表)
- (2) 展開

- (1) 目標 □ $\times a \times b = c$ の場面で、2量の関係をテープ図に表すことから、□を求めることができる。(思判表)
- (2) 展開

指導上の留意事項	学習活動	時間・過程	直間	時間・過程	学習活動	指導上の留意事項
<p>○前時の学習について、想起させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【問題】 はばが30cmの本立てに、あつさ4cmの本を立てていきます。本は何さつ立てられますか。</p> </div> <p>○問題文から気づきを発表しあい、数値・単位・尋ねられていることを明確にする。問題場面状況を、実際の本立てと本で簡単に確かめる</p> <p>○前回の学習(余りを切り上げて処理)を想起させ、この問題状況では「あまり」の数が、「長さ」なのか「本の冊数」なのか留意させる。その上でめあてを示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて】 わり算のあまりに気をつけて、問題を解決しよう。</p> </div>	<p>1 前時までの学習をふり返り、本時の問題を確認する。 ◇あまりがあるわり算について学習し、文章題でのあまりの処理について勉強してきた。</p> <p>◇今日も、わり算を使うのかな。</p> <p>2 めあてをつかむ。 (1) 問題について気づきを出し合う。 ◇図を書いてみると、できそうだな。 ◇わり算が使いそう。 ◇前回のよう、あまりがある。</p>	<p>つかむ</p> <p>7分</p>	<p>■ □</p>	<p>つかむ</p> <p>7分</p>	<p>1 前時までの学習をふり返り、本時の問題を確認する。 ◇割合について学習してきた。 ◇割合を使って、わり算して計算した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【問題】 はるとさんのお父さんの体重は72kgで、はるとさんの体重の2倍あります。はるとさんの体重は、妹の体重の3倍あります。妹の体重は何kgですか。</p> </div> <p>2 めあてをつかむ。 (1) 問題について気づきを出し合う。 ◇3人(お父さん、はるとさん、妹)の体重の話。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて】 テープ図と関係図を使って、問題を解決しよう。</p> </div>	<p>○前時の学習をまとめたもので、 $90 \div 3 = 30$ $30 \div 2 = 15$ $90 \div 6 = 15$ の2つの考え方を振り返らせる。</p> <p>○問題文から気づきを出し合い、昨日の学習と同様に、3量の問題であることを確認する。 ○一文ごと(はるとさんとお父さん)・(はるとさんと妹)の関係の2つにしても良いことを伝える。</p>
<p>○2人×3組で、意図的なペアを作る。</p> <p>○場面状況を図で書かせた後に、立式させるようにする。</p> <p>○ペアで話しても良いことを伝え、学び合う雰囲気作りをする。必要に応じて「ちょっとカード」を使う。</p> <p>○解決が終わったペアには、実物や具体物を使って確かめるよう促す。</p> <p>○立式後の $30 \div 4 = 7$あまり2 の7は何なのか、2は何なのか尋ね、あまりをどう適切に処理するか検討させる。</p> <p>○解決できたグループには、説明する練習をさせておく。</p> <p>○聞き手が大事であることを伝え、「○○のところを、もう一回おねがいします。」「○○のところ、わかりやすかったです。」などの言い方ができるようにする。</p>	<p>3 ペアで解決する。 (1) 図を書いて、解決する。その後立式する。 (2) 選択した方法に沿って、問題を解決する。 児童が書くと思われる線分図</p>  <p>具体物を使った操作の例</p>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 「あまった2は、何?」「あまった2cmでは4cmの本は、もう入らない。」など、あまりを問題場面ではどう処理するべきか検討している。</p> </div>	<p>さぐる</p> <p>13分</p>	<p>■ □</p>	<p>さぐる</p> <p>13分</p>	<p>3 ペアで解決する。 (1) テープ図を書いて解決する。その後、関係図を書き、立式する。 (2) テープ図・関係図を使って、問題を解決する。</p> <p>テープ図</p>  <p>関係図の例</p> 	<p>○意図的なペアを作る。 ○図を書いてから、立式させる。 《テープ図》作成が難しい児童には、以下のような助言をする。 ・大きい方(父)を上へ書こう。何cmにする? ・まずは、父とはるとのテープ図を書こう。それから、はるとと妹のテープ図と2段階に分けてもいいよ。 ・3つの量を一度に書いてもいいよ。</p> <p>《関係図》はるとと妹の体重を求めることが難しい児童には、以下のような助言をする。 ・はるとさんの体重の2倍が おとうさんだね。 ・妹の体重の3倍が はるとさんだね。</p> <p>○解決できたペアには、話す練習をさせておく。 ○聞き手が大事であることを伝え、「何の2倍ですか。」「何の3倍ですか。」など、倍の関係をはっきりさせるためのやりとりや、めあてにそった「式が少なくなるように」など簡便さを求める発言ができるよう促す。</p>
<p>○ペアごとに発表させる。</p> <p>○$30 \div 4 = 7$あまり2の「2」は、本立てのあまり2cmであり、2cmには厚さ4cmの本は入らないこと、わり算の文章題では、問題場面に合わせることを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体的な評価規準】【思判表】(発言・記述) ○あまりの2cmには、本の厚さが4cmなので入らないことに気づき、あまりを切り捨てて処理している。</p> </div> <p>【到達していない児童への手立て】 ○本立ての長さ、本の厚さを示したカードを使って、6さつまでは入るが、残りの2cmでは入らないことを確かめさせる。</p>	<p>4 考えた方法を伝え合い、適用問題をする。 (1) ペアの解決法を発表しあう。 (2) 共通点から、まとめをつくる。 ◎ 今日の学習をどうまとめましょうか。 ◇今日の問題では、あまりの2cmに4cmの本は、入らないから、答えは計算の商そのままになる。</p> <p>(3) 例題、類題のプリントに取り組む。 ◇また、あまりが出そう。このあまりは、メロンの数だな。</p>	<p>ふかめる</p> <p>15分</p>	<p>■ □</p>	<p>ふかめる</p> <p>15分</p>	<p>4 考えた方法を伝え合い、適用問題をする。 (1) ペアの解決法を発表しあう。 (2) グループの共通点から、まとめをつくる。 ◇一度に考えても(6で割っても)、別に考えても(はじめに2で割って、その後3で割っても)答えは同じ。 ◇今日の問題は、昨日の問題と、とても似ている。 ◎ どのやり方が、今日のめあてに合いますか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 「一度に考えると、式が一つですむし、筆算も一つ。」「2回分けると、わり算を2回することになる。」など、問題を解決する上で、簡便な方法を検討している。</p> </div> <p>3) P123の②に取り組む。 ◇また、2回の倍関係が出ていますよ。「ふくろ入り」から考えていくと、4倍の2倍だから8倍だな。</p>	<p>○早くまとめたら、困っている友達にアドバイスをする。</p> <p>○自分が書いているノートを使って、説明させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体的な評価規準】【思判表】 ○倍関係を整理すると、妹の6倍がお父さんであることに気づき、72を6で割っている。</p> </div> <p>【到達していない児童への手立て】 ○テープ図を使って、3倍の2倍は、もとの大きさの6倍になることをつかませる。</p>
<p>○めあてを(「あまりのあるわり算」では、「あまり」・・・)の部分をそれぞれ考え、本時のまとめとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】 あまりのあるわり算では、問題によってあまりを考えないことがある。</p> </div> <p>○振り返りの視点カード(②「友達のよかったところ」)を示し、振り返りをノートに書かせる。</p>	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>6 本時の学びをふりかえる。</p>	<p>まとめる</p> <p>ふりかえる</p> <p>10分</p>	<p>■ □</p> <p>■ □</p> <p>■ □</p> <p>■ □</p> <p>■ □</p> <p>■ □</p>	<p>まとめる</p> <p>ふりかえる</p> <p>10分</p>	<p>5 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】 倍関係が2回ある問題では、倍の関係を整理すると簡単に計算できる。</p> </div> <p>6 本時の学びをふりかえる。</p>	<p>○めあてを(「倍の関係」「整理」・・・)の部分をそれぞれ考え、本時のまとめとする。</p> <p>○振り返りの視点カード(③「どうするとできるのか」)を示し、振り返りをノートに書かせる。</p>